Next Action

**箏と一緒にコロリンシャン！**
12月1日（水）

**音燦らかに**
12月10日（金）

**音動**
12月20日（月）

# KOTO-NOBU-LOG.

## LINEスタンプできました！

LINE使ってますか？今月、オリジナル・スタンプがリリースになりました！スタンプのモチーフは、子供の頃に一緒に暮らしていた猫と箏です！

今月は移動時間や移動先での滞在時間が多くあり、その時間で何かできないかなと思いついたのが、この箏と猫をフューチャーしたスタンプ作りでした。箏曲愛好家や愛猫家の間ではもちろん、箏に馴染みのない方に向けて、楽器の存在を発信するコミュニケーション・ツールとしても、ぜひ沢山の方にお使いいただけたら嬉しいです！LINEストアにて「箏と一緒のかわいい猫」で検索可能です。どうぞ、よろしくお願いいたします！

# 今月のアウトリーチ

今月は、故郷・宇都宮市内の特別支援学校1校、小学校1校、中学校1校、滋賀県大津市内の中学校1校でアウトリーチを担当しました。私がコンサート活動と並行してアウトリーチ活動を行う理由は、先月号でも紹介した（一財）地域創造のホームページに開設されている《特別寄稿 view point No.6》https://www.jafra.or.jp/library/other/column06.html で書いたように、私たちが演奏している楽器や音楽の10年後、20年後のために取り組んでいます。

今回のアウトリーチは、「箏と十七絃箏」「古典と現代」「鑑賞と参加」という3つの対比を、①楽器の音域、②音色を変化させる奏法や作曲法、③曲が持つイメージの想像と体験という観点を交えて紹介しながら45分間もしくは50分間に集約してプログラムしました。実際の基本となる演奏曲目は以下の通り。

1・鳥のように（沢井忠夫）
2・Intermezzi II（望月 京）
3・十七絃独奏による主題と変容 風（牧野由多可）
4・「春の海」を基にしたインタラクティブ・タイム
5・六段の調（八橋検校）

また、実施校の要望から校歌の演奏などもプログラムした場合もあり、曲順も対象学年や実施校の状況で変えました。以前は、子ども達の発言を促す、近い距離で演奏する、コト柱や糸のサンプルに触れるなど劇場で行う公演とは違う環境を積極的に活用していましたが、現在のコロナ禍ではそういったことは実施が難しいため出来ることが限られていることも現実です。但し、新たなアイディアによっては、より子供たちの記憶に残るようなアウトリーチ内容を実施できるチャンスでもあるので、私自身も新しいアイディアを得るために、他分野の方たちのワークショップや創作手法を体験できる機会に可能な限り参加しています。

来月のアウトリーチでは、「箏の音階を体験させたい」という実施校からの要望から、“伴奏パズル”を用いた伴奏創作の授業内容を制作しました。初めての実施内容なので、どんな反応になるのか、ドキドキ。

## 吉澤延隆箏曲研究所 LINE公式アカウントがスタート！

この度、「吉澤延隆箏曲研究所」の名義でLINE公式アカウントがスタートしました。
これまでの公演情報やニューズレターの配信、チケット予約はもちろん、クローズド・コンサートへのご案内やクーポン配布なども行っていきたいと思っています。
LINEご利用の方は、ぜひ、登録をお願いいたします！

**友だち追加は、こちらのQRコードで可能です→**